

令和 8 年度 第 1 回名張市スポーツ推進審議会

事 項 書

日時：令和 8 年 8 月 1 9 日（水）

1 8 時 0 0 分～1 9 時 0 0 分（予定）

場所：名張市役所 2 階 庁議室

あいさつ

議題

1. 名張市スポーツ推進計画の進捗状況について

- ・ 令和 7 年度 of 取組報告

- ・ 令和 8 年度 of 主な取組計画

2. その他

名張市スポーツ推進計画の進捗状況

1. 令和7年度の実施

（主な実施の成果）

スポーツ・レクリエーションに親しめるイベント等を開催するとともに、学校体育施設開放事業を推進し、市民のスポーツ活動の環境づくりに努めました。また、種目協会や指定管理者等による各種教室等を実施することでスポーツをするきっかけづくりを図ったほか、総合型地域スポーツクラブの広報・周知を支援し、身近にスポーツを楽しめる環境の醸成に努めました。

「ホッケーのまち なばり」推進に当たっては、市内で活動する名張青峰高校ホッケー部女子が全国高等学校選抜ホッケー大会に2年連続で出場し、令和7年度第57回大会では初のベスト8入りの活躍を果たすとともに、令和7年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会（第88回全国高等学校ホッケー選手権大会）において、名張青峰高校及び名張高校の合同チーム（男子）が全国大会に出場しました。

体育施設について、指定管理者による施設の円滑な運営、利用者へのサービス向上を図るとともに、老朽化した施設の安全対策及び長寿命化を図るための修繕や設備更新を行いました。

令和7年度末で現行の「名張市スポーツ推進計画」が期間満了を迎えることから、本市のスポーツ振興を引き続き総合的かつ計画的に推進するため、審議会からの答申を踏まえ、新たに「第2次名張市スポーツ推進計画」を策定いたしました。

また、「名張市行財政改革プラン」に基づき、受益者負担の適正化を図る観点等から体育施設の使用料を見直し、令和8年4月より改定いたしました。

《施策別の実施状況》

○スポーツに親しむ環境づくり

《スポーツ活動の機会提供》

- ・地域へスポーツ指導者（ホッケー）の派遣
（美旗まちづくり協議会主催事業 5/29、参加約 20 人）
- ・学校体育施設等の計画開放については、市内 14 小学校において従来の開放時間帯に土曜日午前を追加し、利用機会の拡充を図るとともに、利用者の利便性向上を図れるようデジタルによる新たなシステムを構築（令和 8 年 6 月運用開始）
- ・令和 7 年度体力・運動能力〔成人・高齢者〕調査の実施
- ・なばりスポーツフェスティバル 2025〔エイサー、よさこい、名張音頭の特別披露〕（10/13、参加延べ 835 人）
- ・令和 7 年度名張市青少年育成市民会議「子どもなんでも体★験★団 名張市スポ

ーツ少年団スポーツ体験会（アクティブ・チャイルド・プログラム〔ACP〕及び体験会）」の開催（11/1、参加 子ども 50 人・大人 21 人）

- ・スポーツ推進委員協議会主催の「みんなで歩こうおきつも名張 青蓮寺ダム湖畔ウォーキング」の開催（11/8、参加 57 人）
- ・みえスポーツフェスティバル 2025（種目：柔道、ターゲット・バードゴルフ、軟式野球、SS ピンポン）を名張市で開催
- ・第 19 回名張ひなち湖マラソン大会の開催（3/15、参加 543 人）
- ・市総合体育大会（17 競技）や市民大会（5 種目）の開催
- ・種目協会主催の普及体験教室の開催
- ・体育施設等の空き時間を活用しての指定管理者による自主事業の充実

《総合型地域スポーツクラブの創設及び充実》

- ・名張市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の開催（9/25）
- ・総合型地域スポーツクラブ活動の PR・広報支援

《シニアスポーツの充実》

- ・各種協会等による活動（大会等）
- ・市地域包括支援センターの事業として、身体的フレイルや低栄養のリスクのある方を対象とした運動器機能の向上や低栄養の改善に向け、官民連携による介護予防の通いの場の創出を図るため、令和 7 年度一般介護予防事業（プロポーサル方式）を実施。市内 22 事業者より様々な提案をいただき事業を推進

《指導者の養成・確保》

- ・第 66 回全国スポーツ推進委員研究協議会長野大会において、名張市から山口斉紀氏が 30 年勤続スポーツ推進委員表彰を受ける（11/13・14）
- ・名張市スポーツ指導者研修会を開催（2/28、参加 41 人）

《体育施設の整備充実》

- ・指定管理者制度による施設管理運営の更新（令和 7 年度～令和 11 年度）
- ・ネーミングライツの更新施設（総合体育館、ホッケー場）、新規施設（武道交流館いきいき）における新たなネーミングライツ・パートナーによる命名権取得（令和 7 年度～令和 11 年度）
- ・青蓮寺 C 地区周辺整備に伴い C 地区テニスコートの貸出を終了（R7.5 末まで）
- ・民間事業者よりベルウイング武道交流館トレーニング室にランニングマシンの寄贈いただく。
- ・ベルウイングアリーナ貯蔵タンクの更新やベルウイング武道交流館第二道場空調設備室外機の更新をはじめ、施設等の維持修繕を実施

○競技スポーツの推進

《競技力の向上》

- ・名張市スポーツ大賞の表彰（令和 7 年度 個人：4 人・団体：2 団体）
- ・全国大会以上の大会に出場数（延べ 80 件）うち世界大会出場延べ 6 件

- ・第19回美し国三重市町対抗駅伝大会へ名張市代表チームが参加
〔総合の部：15位、市の部：10位〕(2/15)
- ・「ホッケーのまち なばり」の推進
令和7年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会男子第88回全国高等学校ホッケー選手権大会において合同チーム（青峰高校・名張高校）で全国出場。また、女子は第57回全国高等学校選抜大会では初のベスト8入りの活躍を果たす。
また、ナバリスタホッケークラブ主催による「子どもホッケー体験会」に対して、名張市教育委員会として後援名義の使用を承諾し、ホッケーの普及を支援
《環境整備》
- ・激励金基準の見直し（R7.4～）

○障害者スポーツの推進

《障害者スポーツの普及拡大》

- ・みえスポーツフェスティバル 2025 兼 SS ピンポン地域選抜交流大会の開催
(7/6、県内外 76 人)
- ・東京 2025 デフリンピックの周知啓発（「図書館すなお」で特集展示：7/19～8/31）
- ・第21回名張市障害者スポーツ大会の開催（11/7、大会参加者 101 団体・施設）

○学校体育・スポーツの充実

《体力向上の推進》

- ・学力・体力調査活用検討委員会による調査及び検証
児童生徒は、体力合計点において全国平均を上回り、体育の授業を楽しんでいる割合も高いなど、体力向上に向けた良好な基盤が作られています。一方で、学年・性別による体力の変動や、筋パワー・筋持久力（上体おこし）の課題、運動時間の個人差なども明らかになっており、今後の対策が求められる。

《学校関係体育団体との連携》

- ・部活動の地域連携による指導者派遣（令和7年度：運動部6人、文化部4人）
- ・部活動の在り方検討委員会の開催（2/10）

2. 施策指標（目標）の進捗及び達成状況

評価する内容	基準値	2023 (R5 実績)	2024 (R6 実績)	2025 (R7 実績)	目標値
週に1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合	40.2%	40.5%	38.2%	36.4%	48.0%
市民一人当たりの年間体育施設利用回数	3.8回	4.8回	4.8回	5.1回	6.0回
総合型地域スポーツクラブの認定団体数	5団体	5団体	6団体	6団体	7団体

3. 施策達成のために取り組んだ主な事務事業

No	事務事業名	概要及び目的	決算見込額(※)
1	保健体育総務費（スポーツ活動振興費）	各種イベント等の開催を通じ、市民がスポーツ・レクリエーションに親しめる機会の創出に努めました。 ＜主なイベント等＞ ・なばりスポーツフェスティバル 2025 ・美し国三重市町対抗駅伝選手派遣等支援 ・スポーツイベント活性化事業（ひなち湖マラソン大会） ・指導者研修会	7,492,735 円
2	体育施設管理費	・指定管理者による体育施設等の管理運営 ・施設の修繕や維持管理等	40,653,213 円
3	総合体育館改修事業	・ガス貯蔵施設のバルクタンクの法定使用期限（20 年間）が 2026 年 1 月で経過するため、ベルウイングアリーナガス貯蔵設備更新工事を行いました。	4,477,000 円
4	武道交流館管理費	・指定管理者によるベルウイング武道交流館の管理運営 ・施設の修繕や維持管理等	14,481,488 円
5	武道交流館改修事業	・第二道場の空調室外機が故障したことに伴い当該室外機の更新を行うため、ベルウイング武道交流館第二道場空調設備改修工事を行いました。	6,644,000 円

※決算見込み値のため、今後の監査および議会認定により変更が生じる場合があります。

4. 現状の分析と課題

- 「施策指標（目標）の進捗及び達成状況」における『週に 1 回以上スポーツに親しんでいる市民の割合』は、基準値から 3.8 ポイント、昨年度から 1.8 ポイント減少しました。令和 7 年度市民意識調査の結果から、運動実施率が低い 30 代～50 代（働く世代・子育て世代）へのアプローチ強化が課題です。今後は、身近な地域で活動する総合型地域スポーツクラブの各種教室の周知啓発や、スポーツを始めるきっかけとなるイベントの開催等を通じ、さらなるスポーツの日常化を図る必要があります。
- 少子化の進展等に伴い、中学校部活動の地域展開への対応が全国的な課題となる中、持続可能な体制構築のため、地域展開の活動を担う指導者の確保は急務となっています。
- 「ホッケーのまち なばり」の推進に当たっては、継続的な競技の普及啓発を図るとともに、ホッケーを通じた地域活性化の取組を一層強化していく必要があります。
- 体育施設等については、指定管理者による円滑な運営と利用者へのサービス向上を図るとともに、安全対策及び長寿命化への対応が急務となっています。老朽化に伴い修繕箇所が増加しているため、緊急性や優先度を踏まえた計画的な設備更新や修繕が求められます。また、市全体で公共施設の再配置等の検討が行われることから、教育委員会においても関係部局と連携しながら検討を進めていく必要があります。
- メイハンフィールド（市民陸上競技場）は、現在「第 4 種ライト公認競技場」の認定を受けていますが、令和 9 年 3 月末で公認期限が満了することから、公認継続に向けた着実な対応が必要です。

5. 今後の方向性

- スポーツ活動に親しむ環境を整備するため、スポーツ関連団体等と連携し、市民ニーズに応じたイベントや教室を開催します。特に、スポーツの実施頻度が低い傾向にある 30 代～50 代に向けては、親子参加型イベントの開催等を通じて身体を動かす楽しさを知るきっかけづくりを行うなど、スポーツ人口の裾野を広げる取組を進めます。
- 持続可能な部活動の地域展開に向け、スポーツ関連団体等と連携を図り、地域の多様な人材を発掘しながら、適切な処遇や研修等で指導者の確保及び育成を図っていきます。

- 「ホッケーのまち なばり」の推進に当たっては、学校やスポーツ関連団体等と連携し、さらなる競技の普及啓発を図るとともに、ホッケーを通じた地域の活性化に取り組みます。
- 体育施設等においては、利用者の安全確保及び施設の長寿命化を図るため、老朽化した施設等の改修・修繕に当たっては、限られた予算の中で緊急性や優先度を踏まえ、有利な補助金等を活用するなど財源確保に努めながら、年次的に進めていきます。
また、市全体で公共施設の再配置等の検討においては、全ての体育施設をそのまま維持するのではなく、利用状況や維持管理費用等に加え、広域化の観点など総合的に見極めた上で、「長寿命化を図る拠点施設」と「統合、複合化等を検討する施設」に分類し、計画的なファシリティマネジメントに取り組めます。
- 体育施設等のさらなる有効活用に向けて、空き時間を活用した指定管理者による自主事業の拡充・充実を図ります。また、大会や合宿の誘致によりスポーツツーリズムの推進につなげていけるよう、指定管理者をはじめスポーツ関連団体や関係部署との連携を強化していきます。

第2次名張市スポーツ推進計画

≪前期期間（R8～R12）≫

令和8年度（計画初年度）

（主な取組計画）

【イベント関係】

- 障がい者陸上なばり記録会〔初〕（4/25）
- なばりスポーツフェスティバル2026（10/12）
- 「みんなで歩こうおきつも名張 名張ハロウィンウォーキングin美旗」の開催（10/31）
- 第22回名張市障害者スポーツ大会（11/7）
- 令和8年度三重県スポーツ推進委員研修会 兼 第67回三重県スポーツ推進委員研究大会〔名張市開催〕（12/5）
- 三重県誕生150周年記念「美し国三重市町対抗駅伝大会」（2/21）
- 第37回名張青蓮寺湖駅伝競走大会（3月ごろ）
- 指導者研修会（3月ごろ）

【施設関係】

- メイハンフィールド（市民陸上競技場）第4種ライト公認更新工事
※財源確保の取組としてクラウドファンディングなどを実施
- ベルウイング武道交流館射場フローリング改修工事
- ベルウイング武道交流館武道場吊り天井ほか改修工事設計業務委託
⇒ R9 大規模工事予定（工期7か月）
- ネーミングライツの更新〔メイハンフィールド（市民陸上競技場）〕

【その他】

- 学校開放事業に係る事務のDX（デジタル化）の取組〔申請及び実績報告〕
- 令和8年9月から中学校部活動の地域展開の実証事業（土曜日又は日曜日のうち、いずれか1日〔3時間〕）を開始

No.	地域クラブ	種目	主な活動場所
1	なばドラ柔道クラブ	柔道	北中学校
2	桔梗が丘中学校バスケットボールクラブ	バスケットボール〔女子〕	桔梗が丘中学校